

# AED(自動体外式除細動器)とは

AEDは自動体外式除細動器(Automated External Defibrillator)の略称です。これは心臓突然死の原因のひとつである心室細動(VF)と呼ばれる不整脈により、心臓が細かくけいれんを起こして、心臓のポンプ機能が十分に働かなくなった状態に、電気ショックを与えることで、元の心臓のポンプ機能を取り戻させるための医療機器です。AEDは、心電図を自動的に解析し、音声ガイダンスやイラスト表示により適切な指示をしてくれますので、一般の人でも、簡単に使うことができるように設計されています。

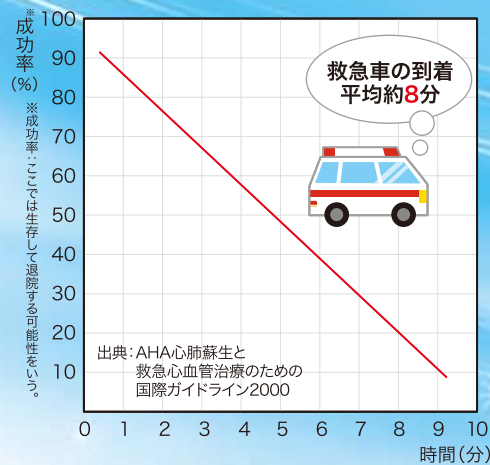
# Automated External Defibrillator

## なぜAEDが必要なのか

1分1秒でも早いAED使用が救命につながります。

心臓が停止してしまった場合に、できるだけ早い心肺蘇生(CPR)と電気ショックを行うことがとても重要です。心室細動(VF)による心停止後の退院にいたる救命の可能性は1分ごとに約7~10%低下するとも言われています。心停止に対する対処は、一刻も早いAEDの使用が望まれます。

■除細動までの時間と成功率(生存して退院できる可能性)



## 救命の連鎖の重要性

突然の心停止から傷病者を救命し、社会復帰に導くためには、①心停止の予防、②早期認識と通報、③早い心肺蘇生と除細動(一次救命処置:BLS)、④救急隊や病院での処置(二次救命処置:ALS)の4つが連続して行われる必要があります。これを救命の連鎖といいます。この4つのうち、どれか1つでも途切れてしまえば、救命効果は低下してしまいます。

- ①心停止の予防とは、突然死の可能性のある傷病を初期症状で気づくことにより、未然に防ぐことです。
- ②早期認識と通報とは、突然倒れた人や反応がない人を見つけたら、直ちに大声で助けを求め、119番通報、AEDの搬送を依頼し、救急隊等が少しでも早く到着するように努めることです。
- ③早い心肺蘇生と除細動(一次救命処置)とは、誰にでもすぐに行える処置であり、心停止の傷病者の社会復帰に大きな役割を果たします。
- ④救急隊や病院での処置(二次救命処置)とは、専門的な治療で心拍を再開させ、社会復帰を目指した高度な治療を行うことです。

バイスタンダー(救急現場に居合わせた人)となる私達は、この救命の連鎖のうち、最も重要な②と③の鎖を担っています。



# AEDで救われる多くの命があります。

## 標準構成



仕様	
販売名	ジェイパッドCU-SP1
一般的名称	半自動除細動器
電極	両用電極パッド(成人・小児、兼用1回限りの使い捨て)
出力エネルギー	定格150J (成人:負荷50Ωで公称 150J) 小児:負荷50Ωで公称 50J
波形	二相性波形(e-cubu Biphasic) 波形パラメータは、傷病者の胸部インピーダンスの負荷に応じて自動調整
バッテリー	DC12V4.2A長寿命使い捨てバッテリー(ディスプレイLiMuO <sub>2</sub> バッテリー)
バッテリー容量	スタンバイ状態5年以上、電気ショック200回以上
セルフェスト	毎日、毎週、4週毎、電源ON時、バッテリー装着時(バッテリー残量、電極パッド、内部回路、等)
寸法・質量	260x256x69.5(WxLxHmm)、2.4kg(バッテリー含む)
メモリ機能	5件のデータ保存が可能(1件、3時間、最大15時間のイベント情報・ECG情報) PC転送(SDカード、赤外線通信)
ガイド機能	3つのインジケータ(フラッシュライト機能付きイラスト表示)と、CPRコーチング機能
モード切替	成人・小児モード切替スイッチ(セーフティガード付)
ステータスインジケータ	3つのステータスが確認できるLCD画面【電極パッド期限、バッテリー残量、機器のエラー状態】
IP:55 (IEC60529)	粉塵が内部に侵入することを防止、いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない
品番	SP1-JSP1
医療機器承認番号	22500BZX00338A01
クラス分類	高度管理医療機器、特定保守管理医療機器

## 救急セット 救急セットは本体購入時に必ずお買い求めください。



消耗品	オプション	収納ケース
電極パッド(両用) SP1-OA04	電極パッド(小児用) SP1-OA05	使い捨てバッテリーパック(長寿命型) SP1-OA03
	キャリングケース(JPAD CU-SP1用) SP1-JA01	AED収納ボックス(スタンド付) 00242617
		AED収納ボックス(壁掛け式) 00242616

※取扱説明書及び添付文書をよくお読みの上正しくお使いください。  
 ※仕様、外觀等の一部が都合により変更されることがあります。あらかじめご了承ください。  
 ※AEDの設置の際は、AED管理者を設置し、製造販売業者の推奨する保守点検を行い、いつでも使用できる状態に管理してください。特に、電極パッド・バッテリーの使用期限の確認及び期間内の交換を確実に実施してください。  
 ※保守管理の必要性及び電極パッドやバッテリー等の消耗品の使用期限はそれぞれの本体にラベルを貼付しているのをご確認ください。  
 ※AEDの設置管理者は、AEDに不測の事態が発生した時及び稼働時(高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る)、稼働時には、株式会社CUにご連絡ください。また、製造販売元又は販売元からの情報提供方法等(交換時期のお知らせ等)について確認してください。  
 販売名: 除細動小児用パッドSPX用 医療機器届出番号: 13B1X10153000010  
 販売名: 除細動両用パッドSPX用 医療機器届出番号: 13B1X10153000009

**JMS** 販売元 株式会社 ジェイ・エム・エス  
<http://www.jms.cc>  検索

■お問い合わせ先 **カスタマーサポートセンター** ☎0120-200-517  
 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号

全国の支店 | 北海道支店 東北支店 北関東支店 東京支店 中部支店  
 近畿支店 中国支店 四国支店 九州支店

製造元 **株式会社 CU メディカルシステムズ**  
<http://www.cu911.com>

製造販売元 **株式会社 CU**  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-10  
 虎ノ門桜田通ビル8階  
 TEL:03-6205-7385 FAX:03-6205-7386  
<http://www.japan-cu.com>

**AEDコールセンター** ☎0120-910-256  
 2015.01.05XD079-UP



# ジェイパッドCU-SP1

極めたのは、命を救う機能とデザイン。





一刻を争う救命のために、  
使いやすさを追求しました。

「ジェイパッドCU-SP1」が選ばれる理由

理由1

迷わず素早く使える操作性

1 本体表面だけで全ての操作が可能  
オールインワン・デザイン

本体の表面に操作ボタンや表示ディスプレイが全てレイアウトされているので、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）にも分かりやすく、使いやすいデザインになっています。

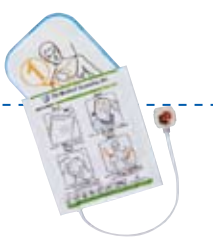
2 成人・小児のモード切替はワンタッチ  
モード切替え

成人・小児のモード切替えが、スライドスイッチによりワンタッチで簡単にできます。誤操作防止用のカバーもついています。



3 成人・小児のパッド交換は不要  
両用電極パッド

成人用、小児用として、どちらにも兼用できる両用パッドを標準で本体に収納しています。両用パッドなので、成人用、小児用で交換の必要がなく、ランニングコストにも貢献します。



理由2

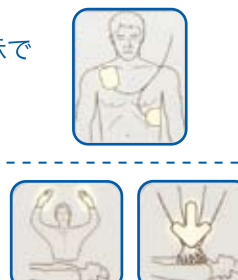
聞き取りやすく分かりやすいガイダンス

4 周りの騒音に合わせて  
音声ガイダンスの音量を自動調節  
オートボリューム 業界初

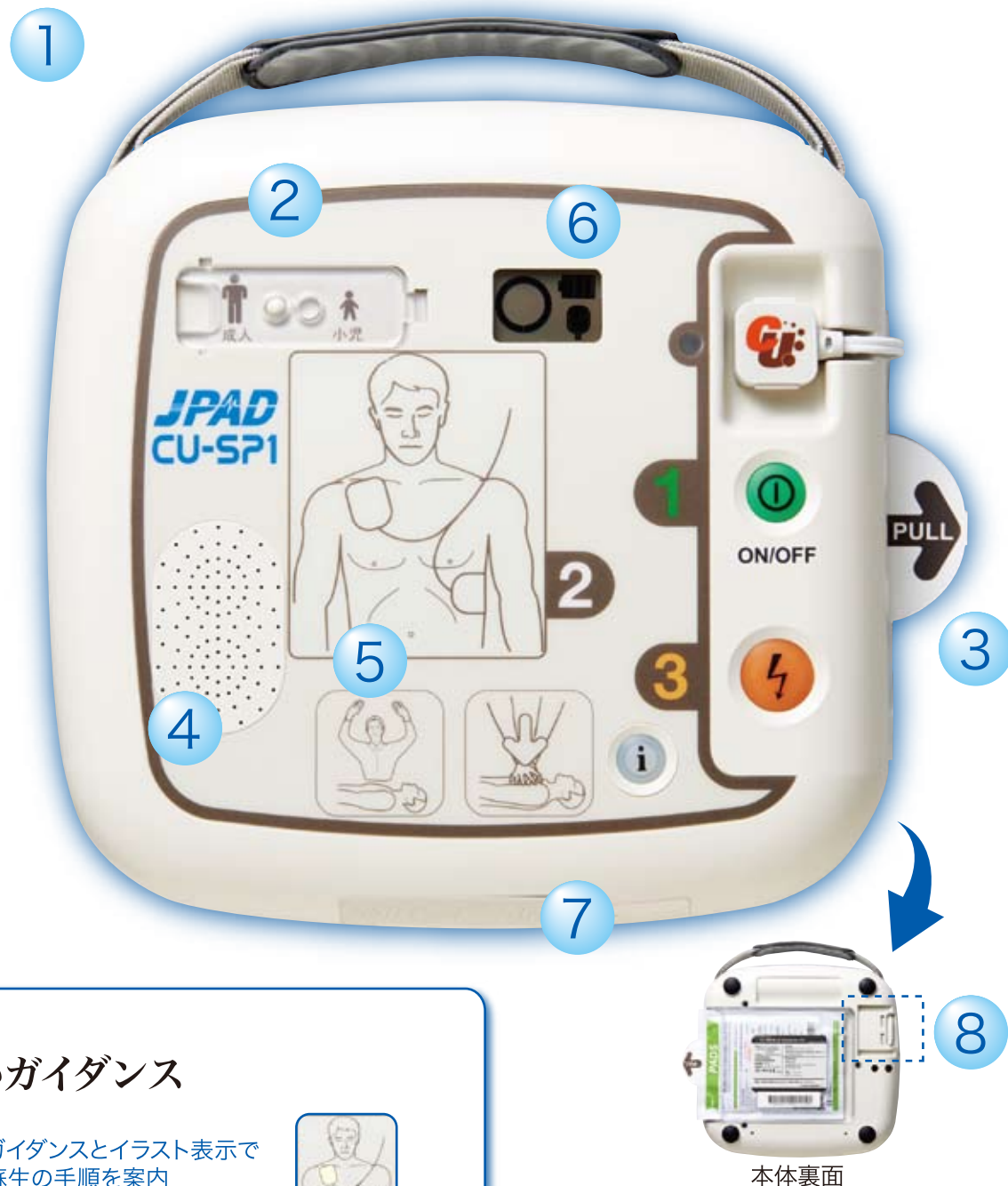
周囲の環境の騒音に対応して、救命音声ガイダンスの音量が自動的に3段階上昇する自動音量調整機能がついています。騒がしい場所で音声ガイダンスが聞こえない!などの状況を防ぎます。

5 音声ガイダンスとイラスト表示で  
心肺蘇生の手順を案内  
ガイド機能

救命音声ガイダンスに合わせて、心肺蘇生(CPR)の操作手順がすぐに分かるイラストガイド表示機能がついています。



各番号の機能については、「理由1・2・3」をご覧ください。



**!** 日常点検を忘れずに!  
AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。



理由3

点検・管理も簡単・確実

6 セルフチェックの結果を一目で確認  
ステータスインジケータ

機器本体、バッテリー、電極パッドのセルフチェック結果を、視認性に優れた3つのステータスインジケータで表示します。キャリングケースの上からでも、正常な状態とエラー状態が一目で確認出来るので、管理も簡単です。



7 SDカードが使用可能  
救命データ管理



付属のSDカードとSDカードリーダーで、救命時の履歴(時間・イベント内容・心電図)が簡単に確認できます。救命履歴は最大5件迄(1件最大3時間迄)のメモリが可能です。尚、オプションでIrDA(赤外線通信)も使用可能です。

8 長く使えるから経済的  
長寿命  
バッテリー搭載

本体に接続してから、スタンバイ状態で5年という長寿命バッテリーを搭載しています。長寿命なので、ランニングコストにも貢献します。

救命とJPAD使用の手順

1 意識を確認する。



大丈夫ですか?

5 AEDの準備をする。

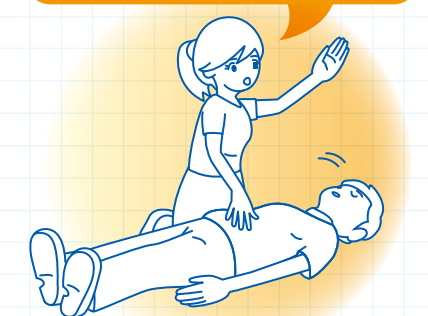


電源ボタンを押し、成人・小児モードを適切に切り替えます。

2 助けを呼ぶ。

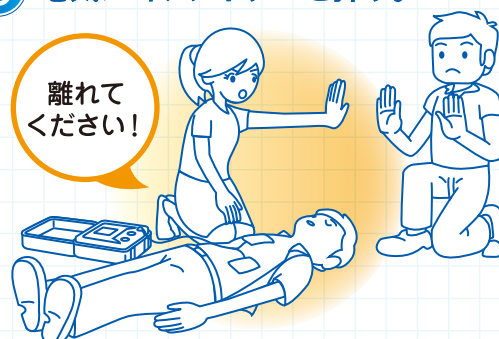
反応がなければ大きな声で助けを求めます。

「119番へ通報してください!」  
「AEDを持ってきてください!」



機器の底面にある電極パッドの袋を取り出し、袋を破いて電極パッドを取り出してください。示している図を確認してシートからはがし、イラストのように皮膚にしっかりと貼ってください。

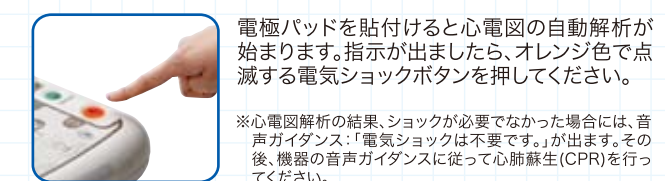
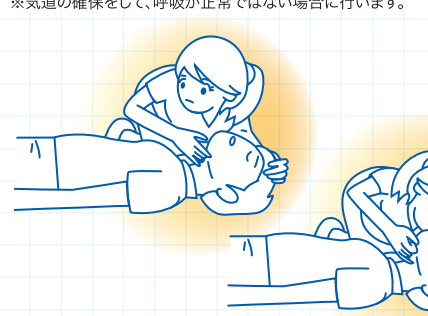
6 電気ショックボタンを押す。



離れてください!

3 気道の確保と呼吸の確認をする。

もし正常な呼吸がなければ、人工呼吸をする。  
※気道の確保をして、呼吸が正常ではない場合に行います。

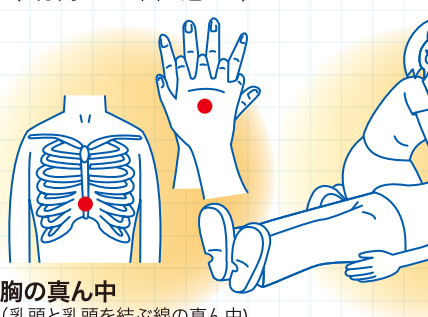


電極パッドを貼付けると心電図の自動解析が始まります。指示が出ましたら、オレンジ色で点滅する電気ショックボタンを押してください。

※心電図解析の結果、ショックが必要でなかった場合には、音声ガイダンス「電気ショックは不要です。」が出ます。その後、機器の音声ガイダンスに従って心肺蘇生(CPR)を行ってください。

4 胸骨圧迫をする。(心臓マッサージ)

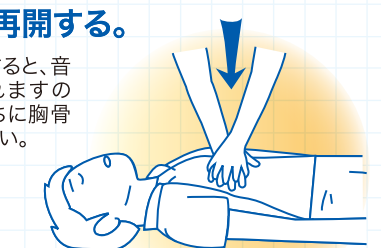
2回の人工呼吸の後、30回の胸骨圧迫を行います。(1分間に100回の速さで)



胸の真ん中  
(乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中)

7 心肺蘇生法を再開する。

電気ショックが完了すると、音声メッセージが流れますので、これに従って、直ちに胸骨圧迫を再開してください。



動画はこちらから。  
※機種によってはご覧に出来ない場合もございます。